

ゆうゆうの郷

2014・8

おにしか更生園第45号
ほっぷすてっぷ第14号



登別伊達時代村

しょうわ ねん かいせつ しょうせい えん さま ことし
昭和59年に開設した「おにしか更生園」。おかげ様で今年
がつ しゅうねん むか ち いきせい かつ し えん じぎょう
5月に30周年を迎えました。そして「地域生活支援事業あ
とり」も20周年。なんと「ほっぷすてっぷ」も10周年を
しゅうねん しゅうねん
それぞれに迎えました。そこで記念旅行第1弾！！洞爺湖
きねん りょこう だい いち だん どう や こ
旅行。これからも、皆で笑顔一杯の楽しい思い出をたくさ
りょこう みんな え が お い っ ぱ い た の お も で
ん作っつていきたいと思おいます。^^

周年記念事業

「みんなで節目を祝う会」

本年は当法人が小平町で各種の社会福祉事業を展開し始めてから節目の年となります。

昭和59年に事業開始した「おにしか更生園」が30年・平成5年、鬼鹿・留萌でグループホームを営む「地域支援事業あり」を構え、20年・平成15年、在宅やグループホームからの通所者を受け入れる「ほつぶすてつぶ」が開園してから10年・・・

これらの節目を祝う食事を4月26日おにしか更生園体育館で行ないました。各事業所を保護者の皆様や利用する方々と保護者の皆様や



秋野達雄理事をはじめ、小平町長関次雄様、初代施設長大澤邦昭様、第三者委員角谷ヒサ子様をお招きし、230名が一同に介しての賑やかな宴となりました。

冒頭では永きに渡り、利用者の実習受入でお力添えを頂いた地元、藤田水産社長藤田貢様に感謝状を贈呈し、その後は今までの歴史を綴ったスライドショーや迫力ある和太鼓演奏を楽しみながらご馳走に舌鼓をうち、盛会のうちに祝いの食事を終えることができました。

これらの各事業の節目に際し、平素からの関係各位のご尽力なればご理解に心から感謝申し上げます。(森田)



女子棟増設「爽～さわ～」完成



女子棟も全室個室化を・・・とのことで女子棟の増設が決定し、保護者会からのお力添えも頂き、昨年12月に完成、棟の名前は「爽」としました。(毎日、さわやかな気持ちで過ごして戴きたい・・・そんな願いを込めて決めました。)

お正月明けに6名の方が引越し、新しい居室での生活をスタートさせることができました。おかげでもえぎ寮利用者さんも全員個室での生活を



はじめることができました。個室化に伴いそれぞれに好みのタンスやベッド・大きなテレビを購入。おしゃれなカーペットにソファを置く方も。くつろぎの自分だけの空間を皆さん手にすることができました。

爽は居室が6室。大きな茶の間がありそこには、みんなで過ごせるようにとテレビや食卓テーブル・ミニキッチンも完備。他にもトイレ・洗面所・洗濯室・シャワールームも設備され、皆さんで掃除も分担し大切に利用しています。

爽での生活がスタートし半年が過ぎましたが、ここでの生活を楽しめるよう、食事会や映画鑑賞会など、皆さんの意見を取り入れた企画も行つていきたいと思つています。(土佐)



6月21日、鷹栖町で開催されました。道北ソフトボール大会に参加してきました。

第36回道北ソフトボール大会

今年はソフトボールに参加を希望する方が少なく、試合に参加する事が危うい状況でしたが、皆さんの試合に出たといった強い希望もあり、何とか人数を集め、参加する事が出来ました。さらに悪天候が続き、新人も加入した中で、十分な練習も行う事が出来ず、不安な幕開けではありま



したが昨年は、初戦で敗退してしまつた為、今年はまず一勝！と思ひ全力で試合に臨みました。しかし・・・健闘むなしく6対9で惜しくも昨年と同様、初戦敗退となつてしまいました。試合中は、皆さん表情良く、プレーの際にミスが見られた際には、声を掛けあいながら試合を楽しんで行う事が出来ました。残念な結果でしたが、最後まで諦めず一生懸命頑張つて行った事に意味があると感じました。年々参加が厳しい状況が見られてきていますが、参加出来る中は皆で楽しみながら頑張ろうと思つています。(加我)

小平ダム花壇整備

今年も留萌開発建設部様より、花の注文を頂き、おびらしべ湖駐輪公園の花植えを行つてきました。

この時期は、天候が不順なことも多く心配していましたが、みんなのやる気が天に届いたようで雨を避けることができ、ほつとしました。



で張り切りすぎ、到着した時には疲れて動けない人がいたり、弁当時間のみ元気になる人。そして、今年のナンバーワンは、小平ダムにある恐竜の置物と蚊と仕事そつちのけで時間一杯、楽しく遊んでいた人ですね。

(まあいいか???)笑) それでも、何とかみなさんの頑張りで無事花植えを終了することができました。みなさん其々に、大変お疲れ様でした。(千代谷)



毎年色々なエピソードがありますが、今年は移動中のバス

おにしか更生園30周年・あと20周年・ほつぶすてつぷ10周年を記念し、3事業所合同の旅が計画されました。旅行プランは、今回行われた1泊2日の道内旅行と10月に予定している3泊4日の東京旅行で、利用者・保護者の方にアンケートを取り旅行先を決めさせて頂きました。今回の道内旅行は、「洞爺湖でのんびりリゾート満喫プラン」と題して、6月4・5日の1泊2日の日程で行われました。参加人数は、3事業所の利用者・保護者・職員で総勢72名。暑くなるのでは・・・と心配していましたが、皆さんの普段の行いが良いのか、お天気に恵まれた2日間でした。



1日目は、8時

周年記念旅行 洞爺湖編

に学園を出発し、トイレタイムを取りながら、ゆつくりのんびりとバスを走らせ伊達時代村へ。昼食は、青葉御殿にて「鳥うどん蒸し」を頂き、その後は、各自由見学。皆さん江戸時代にタイムスリップし、茶屋でお団子を食べたり、忍者の迷路で遊んだり、花魁ショーを観たり、お待さんと写真撮ったりと楽しいひと時を過ごされたようです。宿泊は、いつもよりちよつぱり奮発して、洞爺湖温泉で人気ランキング1位の「乃の風リゾートホテル」に宿泊。宴会は、保護者会で用意して下さった周年記念を祝う沢山の母のついでスタートしました。



た大きなバースデーケーキを囲んで和やかに始まりました。料理は、品数も多くどれも美味しかったのですが、一品一品出されるシステムに馴染めなかつた方が多かつたようです。(これは反省点かなあ!) 宴会の後は、温泉に入ったり、売店で買い物したり、お部屋から花火を観たりとゆつくりくつろいで頂けたようです。2日目は、超豪華な朝食バイキングを頂き大満足で、ホテルを出発し、洞爺湖汽船へ1時間ほど綺麗な景色を眺めながら遊覧を楽しみました。その後は、2つのグループに分かれ、買い物や道の駅めぐりをして帰るよう、皆さんの選択肢の幅を広げられるよう、様々な楽しい経験を積んで貰い、日々の生活を笑顔で過ごせる、施設づくりに繋がっていったらと考えています。

た大きなバースデーケーキを囲んで和やかに始まりました。料理は、品数も多くどれも美味しかったのですが、一品一品出されるシステムに馴染めなかつた方が多かつたようです。(これは反省点かなあ!) 宴会の後は、温泉に入ったり、売店で買い物したり、お部屋から花火を観たりとゆつくりくつろいで頂けたようです。2日目は、超豪華な朝食バイキングを頂き大満足で、ホテルを出発し、洞爺湖汽船へ1時間ほど綺麗な景色を眺めながら遊覧を楽しみました。その後は、2つのグループに分かれ、買い物や道の駅めぐりをして帰るよう、皆さんの選択肢の幅を広げられるよう、様々な楽しい経験を積んで貰い、日々の生活を笑顔で過ごせる、施設づくりに繋がっていったらと考えています。

○利用者編
伊達時代村で食べたお汁粉が美味しかった(松本さん)
温泉が良かった(佐藤さん)
花火とお谷君大谷君のグッツが買えたところが良かった(葛西さん)



サークル活動

・お姉さんと旅行が出来て良かった。(若葉さん)
・ソフトクリーム・コーラなど沢山食べられた。(美晴さん)
○職員編
・ホテルが良かった(お風呂も料理も満足)また、是非、利用したい。(数名)
・利用者さんと楽しくて良かったです。(数名)
・栄養士さんの面倒を見るのが大変でした(笑) (多数)
・お待さんと出会えて良かった(廣澤)



・久しぶりに優しくなれました(えくウソでしよう・・・)等々でした。十月は、江戸いやいや東京旅行です。どんな珍道中になるのか、このご期待。(猪股)

この活動を取り組むきっかけとなったのは、ご高齢の方が多くなってきたことと障がい特性の多様化が進む中で、日中活動の内容や体制そのものを再考し、現体制の課題を明確にしてこれらから必要となる活動体制の基盤作りにつなげていけるものと考え、取組みを進めています。

【目的】

①日中活動班という枠組みから離れ、自分で選んで様々な経験を行う中で、有意義な時を過ごしていただく。
②活動の中で、楽しく遊ぶというコンセプトでの実施とする。
③障害の多様化・高齢化に於ける活動の在り方や内容のヒントになっていくだろう...というこ

お知らせ

日本郵便株式会社様より、平成26年度年賀寄附金配分(80万円)を受け、配送車を購入致しました。以前の車両も9年間(18万キロ)頑張ってくれましたが塩害(サビ)と老朽化で入れ替えとなりました。新たな車両もまた、受注した商品の配達や販売、利用者の皆さんの送迎など幅広く活用させて頂いております。

日本郵便株式会社様はじめ、ご協力戴きました皆様にあたためましてお礼申し上げます。



新任職員紹介

今年(ことし)は更生園(こうせいえん)、あと、ほつぷすてつぷ3事業所(じぎょうしょ)に合計(けいごう)5名の新任職員(しんじんしやくいん)が仲間(なかま)入り(いり)しました。その中(なか)の1名(めい)は以前(いぜん)に更生園(こうせいえん)で勤務(きんむ)しており、懐(なつ)かしい顔(かお)が戻(もど)ってきたと、過去(かこ)を懐(なつ)かしむ利用者(りようしゃ)の皆様(みなさま)の様(よう)子(す)が見(み)られておりま(ま)す。

他(ほか)4名(めい)の新任(しんじん)も不慣(ふな)れながらも笑(え)顔を大切(たいせつ)にし、利用者(りようしゃ)の皆様(みなさま)の日々(ひび)の生活(せいかつ)の支(し)援(えん)を行(い)わせて頂(いた)いております。

今後(こんご)ともよろしくお願(ねが)い致(いた)します。

★質問内容

- ① 休(きゅう)日の過(す)ごし方(かた)
- ② 理(り)想(そう)とする支(し)援(えん)員(いん)像(ざう)
- ③ 利(り)用(よう)者(しゃ)の方(か)たに一言(ひとこと)

関澤 絵里 (せきざわ えり)
所属(しよぞく) 更生園(こうせいえん)・もえぎ寮(りやう)



- ① DVD鑑賞(かんしょう)、料理(りょうり)お菓子(かし)作り(づくり)
- ② 利(り)用(よう)者(しゃ)一(ひと)人(ひとり)と向(む)き合(あ)い共(とも)に成(せい)長(ちやう)していける支(し)援(えん)員(いん)
- ③ これ(こ)から楽(たの)しい事(こと)を沢(たく)山(さん)しまし(し)よう!

坂本 雅奈 (さかもと まな)
所属(しよぞく) 更生園(こうせいえん)・もえぎ寮(りやう)



- ① 一(いち)日(にち)中(ちゆう)のんびりゴロゴロ
- ② 利(り)用(よう)者(しゃ)一(ひと)人(ひとり)のこ(こ)とを考(かん)えらる職(しやく)員(いん)
- ③ いつ(いつ)も元(げん)気(き)いっ(い)っぱい(ぱい)の笑(え)顔(がほ)、挨拶(あいさつ)をあ(あ)りが(が)と(と)う!

高橋 秀次 (たかはし しゅうじ)
所属(しよぞく) 更生園(こうせいえん)・はばたき寮(りやう)



- ① 卓(たう)球(きゆう)をす(す)ること
- ② 利(り)用(よう)者(しゃ)の方(か)たの生(せい)活(かつ)をよ(よ)り良(よ)くしてい(い)けるよ(よ)うな支(し)援(えん)員(いん)
- ③ 仕(し)事(ごと)も普(ふ)段(だん)の関(かん)わりもま(ま)だま(ま)だ私(わたし)ですが、これ(こ)から(か)らも(も)よろしくお願(ねが)いし(し)ま(ま)す。

赤坂 裕美 (あかさか ひろみ)
所属(しよぞく) 地域生活支(ちいきせいかつしえんじぎょう)援(えん)事業(じぎょう)あと(と)



- ① 掃(そう)除(じゆ)・洗(せん)濯(たく)、子(こ)ども達(たち)と戯(たわ)ぶる♪
 - ② 笑(え)顔(がほ)を絶(た)やさ(さ)ず(ず)に利(り)用(よう)者(しゃ)さん(さん)本(ほん)意(い)のサ(サー)ービ(び)ス(す)を提(てい)供(こう)出(しゅつ)来(らい)る支(し)援(えん)員(いん)
 - ③ 皆(みな)様(さま)お(お)久(ひさ)しぶ(ぶ)り(り)です(す)! ま(ま)た(た)ま(ま)た(た)働(はたら)か(か)せて頂(いた)く(く)事(こと)に(に)な(な)り(り)ま(ま)した(した)。
- よろしくお願(ねが)い致(いた)しま(ま)す。

大竹 将真 (おおたけ しょうま)
所属(しよぞく) ほつぷすてつぷ



- ① ドラ(ら)イ(い)ブ(ぶ)、旅(り)行(こう)
- ② 利(り)用(よう)者(しゃ)の皆(みな)様(さま)の笑(え)顔(がほ)を多(おほ)く引(ひ)き出(だ)すこ(こ)の出(で)来(き)る職(しやく)員(いん)
- ③ 毎(まい)日(にち)のお仕(し)事(ごと)を一(いつ)生(せい)懸(けん)命(めい)頑(がん)張(は)っ(っ)て一(いつ)緒(じゆ)に良(よ)い汗(あせ)を流(なが)し(し)ま(ま)し(し)よう!

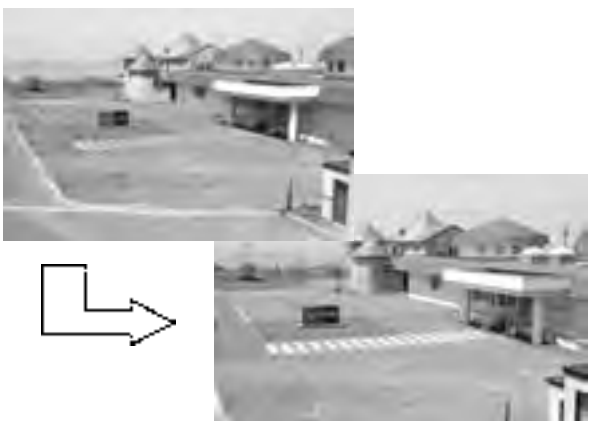
駐車場の白線引き

ボランティア

長年(ながねん)の風雪(ふうせつ)により、更生園(こうせいえん)、ほつぷすてつぷの駐(ちゆう)車(しゃ)場(じやう)の白(はく)線(せん)が薄(うす)くな(な)って(て)お(お)り(り)ま(ま)した(た)が、6月(がつ)に北進(ほくしん)開(かい)発(はつ)株(かぶ)式(しき)会(かい)社(しゃ)様(さま) (旭川(あさひがわ)市(し))より社(しゃ)会(かい)福(ふく)祉(し)事(じ)業(ぎやう)貢(こう)献(けん)活(かつ)動(どう)の申(もう)し出(で)が(が)あ(あ)り(り)、駐(ちゆう)車(しゃ)場(じやう)の白(はく)線(せん)を引(ひ)き直(なお)して戴(たいてん)き(き)ま(ま)した(た)。



作業(さぎや)は、同(どう)社(しゃ)職(しやく)員(いん)6名(めい)が白(はく)線(せん)を引(ひ)くこ(こ)ろ(ろ)に、目(め)印(いん)をつ(つ)け、



機(き)械(かい)を慎(しん)重(じゆう)に操(そう)作(さく)しな(な)が(が)ら(ら)次(つぎ)々(々)と白(はく)線(せん)を引(ひ)き、2時(じ)間(かん)弱(じやく)で、更(せい)生(せい)園(えん)、ほつぷすてつぷ、う(う)い(い)ず(ず)の駐(ちゆう)車(しゃ)場(じやう)合(あ)わ(わ)せ(せ)て55台(だい)分(ぶん)の白(はく)線(せん)を引(ひ)いて(いて)い(い)た(た)だ(だ)き(き)ま(ま)し(し)た(た)。

真(ま)新(あたら)しい白(はく)線(せん)のお(お)か(か)げ(げ)で、大(たい)変(へん)駐(ちゆう)車(しゃ)し(し)やす(やす)く(く)な(な)り(り)ま(ま)し(し)た(た)し、きれ(き)い(い)に並(なら)べ(べ)て(て)駐(ちゆう)車(しゃ)で(で)き(き)る(る)よ(よ)う(う)に(に)な(な)り(り)大(たい)変(へん)感(かん)謝(しゃ)し(し)て(て)お(お)り(り)ま(ま)す(す)。

あ(あ)り(り)が(が)と(と)う(う)ご(ご)ざ(ざ)い(い)ま(ま)し(し)た(た)。

(田(た)中(なか))

〜お悔やみ〜

✦ **鍋嶋 登也** さん
3月(がつ)25日(にち)、逝(せい)去(きよ)。享(きやう)年(ねん)45歳(さい)。

内(うち)気(き)で遠(えん)慮(りよ)が(が)ち、だ(だ)け(け)ど(ど)几(き)帳(ちやう)面(めん)な(な)性(せい)格(かく)。甘(あま)えん(えん)坊(ぼう)な(な)一(いっ)面(めん)もあ(あ)つ(つ)て、一(いっ)緒(じゆ)に遊(あそ)んで(で)も(も)ら(ら)つ(つ)た(た)時(とき)の優(やさ)しい笑(え)顔(がほ)が印(いん)象(ざう)的(てき)で(で)した(た)。お(お)に(に)し(し)か(か)更(こう)生(せい)園(えん)、開(かい)設(せつ)当(とう)初(しよ)か(か)ら、た(た)く(く)さ(さ)ん(ん)の思(おも)い出(で)を更(こう)生(せい)園(えん)に残(のこ)して(して)い(い)つ(つ)て(て)く(く)れ(れ)ま(ま)し(し)た(た)。お(お)仕(し)事(ごと)は、い(い)つ(つ)も汗(あせ)をか(か)き(き)な(な)が(が)ら(ら)一(いっ)倍(ばい)の頑(がん)張(は)り(り)を(を)見(み)せ(せ)て(て)く(く)れ(れ)て(て)いた(た)登(たか)也(や)さん(さん)、あ(あ)り(り)が(が)と(と)う(う)!そ(そ)して(して)お(お)疲(つか)れ(れ)様(さま)で(で)した(た)。

✦ **藤原 義夫** さん
5月(がつ)4日(にち)、逝(せい)去(きよ)。享(きやう)年(ねん)88歳(さい)。



男(だん)性(せい)利(り)用(よう)者(しゃ)、最(さい)高(こう)齢(れい)だ(だ)つ(つ)た(た)義(ぎ)夫(お)さん(さん)。み(み)ん(ん)な(な)の良(よ)き「お(お)じ(じ)い(い)ちゃん(ちゃん)」で(で)あ(あ)り(り)、人(じん)生(せい)の(の)大(だい)先(せん)輩(はい)で(で)あ(あ)り(り)・・・昔(むかし)話(わ)に(に)花(はな)を(を)咲(さ)か(か)せ(せ)て、茶(ちや)目(め)つ(つ)け(け)た(た)つ(つ)ぶ(ぶ)り(り)の笑(え)顔(がほ)を(を)見(み)せ(せ)て(て)く(く)れ(れ)る(る)時(じ)間(かん)が、み(み)ん(ん)な(な)大(だい)好(こう)き(き)で(で)した(た)。

個(こ)人(じん)的(てき)に(に)は、伸(の)び(び)て(て)き(き)た(た)眉(まゆ)毛(げ)を「髪(かみ)の毛(げ)が邪(じゃ)魔(ま)だ(だ)な」と言(い)っ(っ)て(て)いた(た)こ(こ)と(と)が、私(わたし)のお(お)気(き)に(に)入(い)り(り)の(の)エ(エ)ピ(ピ)ソ(ソ)ード(ード)で(で)す(す)。

(福(ふ)田(た))

心(こゝろ)よりご冥(めい)福(ふく)をお祈(いの)り申(まを)し上(あ)げ(あ)げ(あ)げ)ま(ま)す

知恵の輪

■障害者週間■

障害者週間とは、12月3日～12月9日とし、国民に広く障がい者福祉についての関心と理解を深め、障がい者の社会参加への意欲を高めるための啓発活動を行う事を趣旨とし、「国及び地方自治体は、障がい者の自立及び社会参加の支援に関する活動を行う民間の団体等と相互に緊密な連携を図りながら、障害者週間の趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。」という週間です。

自治体によって取り組みは様々で、文化芸術祭や、障がい者の手作りする作品の販売会などが行われたり、街頭で啓発活動のパンフレットを配ったりと様々です。

どなたでも参加が可能であるものばかりで、障害者週間以外でもこの週間の趣旨に副った活動を展開しているので、みなさん是非参加してみてくださいいかがでしょうか？

おまじないのりんご酒を作りました。

小平和牛 しぐれ煮



種類：甘口・ピリ辛
価格：1瓶540円

またまた小平和牛を使った商品が出来ました。

種類は2種類、甘口はしょうがと砂糖で甘辛味、ピリ辛は一味を効かせたちよつと大人の味に仕上げました。

ご飯のお供やお酒の肴にピッタリ！子どもから大人まで美味しく食べられる味となっています。

〈お問い合わせ〉

〇ほつぷすてっぷ (担当:楓)

☎0164-5711188

編集後記

▽*夏と言えれば機関紙*
今年、悲しい出来事もありました。今を生きる利用者さんとの関わりを深めたいと、今年度の楽しい毎日を共に過ごしたいとおもっています。
▽皆が夏バテをしている最中、一向に食欲が衰えず、体重が増加するばかり。この夏に減量し、本紙に写真が載るとも恥ずかしくない身体になりたい・・・笑
▽鬼鹿の地に住み始めて4ヶ月が経ち、目の前が海！という素晴らしい環境の中、過ごしやすさを頂いています。利用者様の様と夏を感じ、毎日を楽しみたいと思います。
▽編集委員1名が増え、段々と年寄りのやる事が少なくなると、隅に追いやられてきている感じがしています。でもそれは、大変嬉しい事だとも感じています。